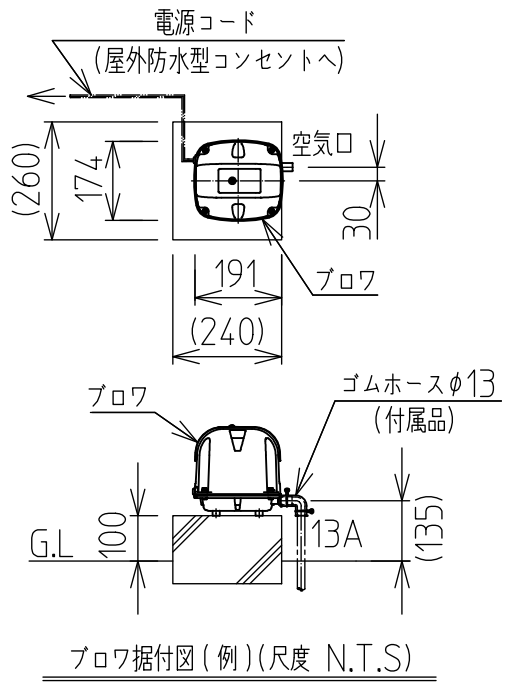
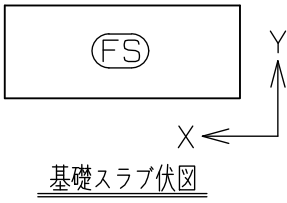
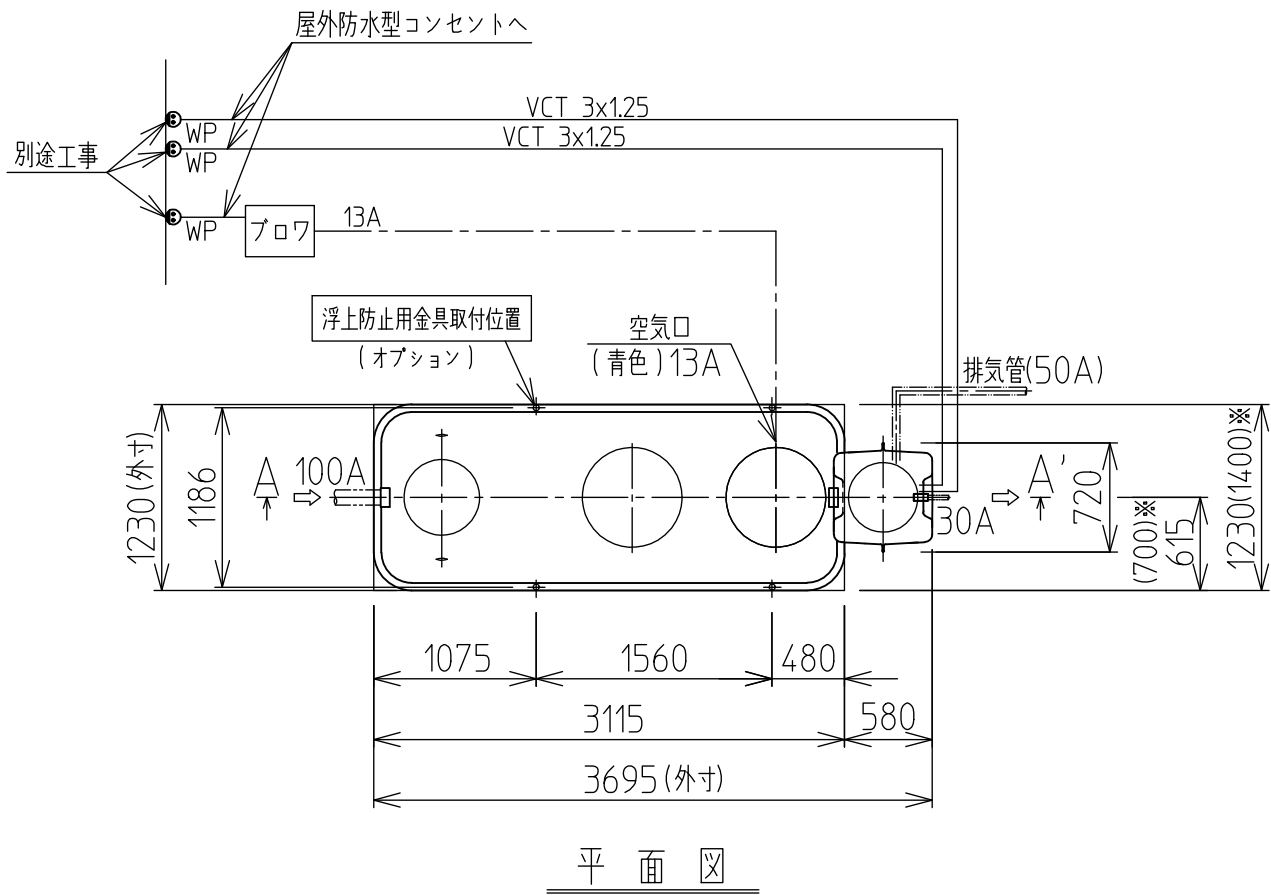




配		筋		仕		様	
名 称	版 厚	記 号	仕 様				
基礎スラブ	100 (200)※	FS	X方向	D10 @200 (D10 @200	シングル ダブル)※		
			Y方向	D10 @200 (D10 @200	シングル ダブル)※		

(注 記)

鉄筋

コンクリート

:

:

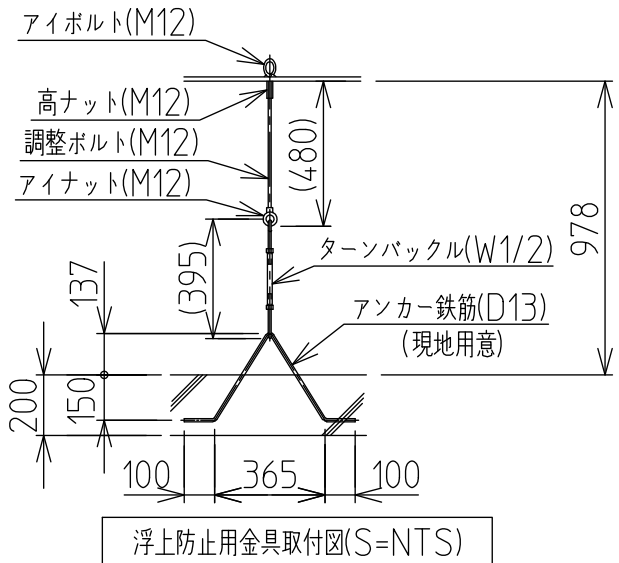
SD295A

FC=21N/mm²

浄化槽寸法 (mm)
W1230 × L3695 × H1755

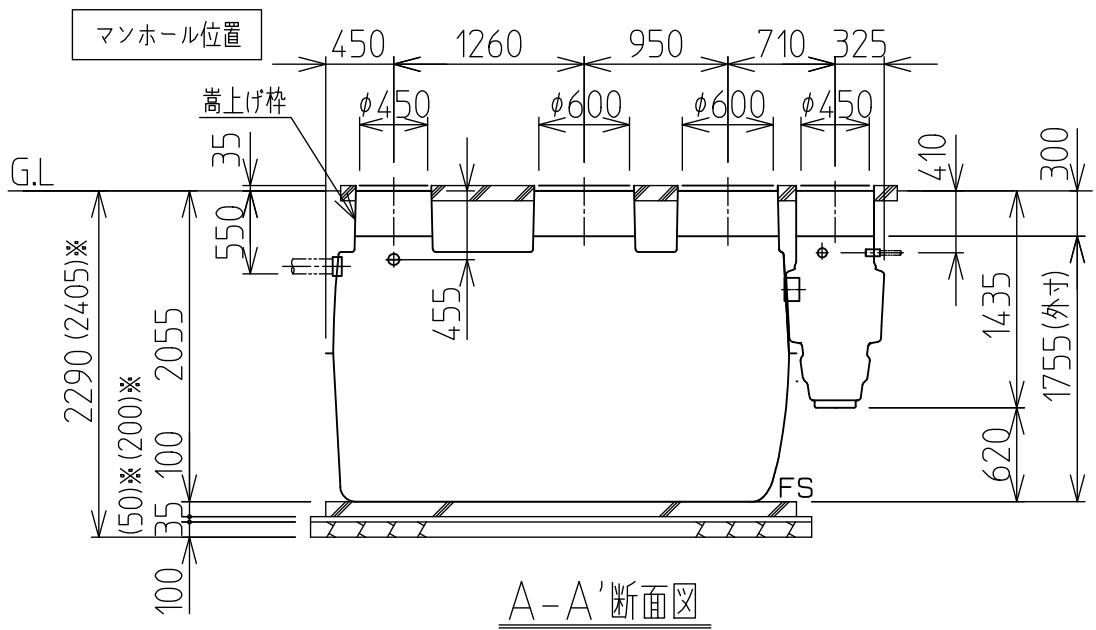
浮上防止用金具 (オプション例)

浮上防止用金具 (オプション) は、湧水があり槽が湧水により浮上する恐れのある場合に取付けてください。
浮上防止用金具取付時の底版厚は、200mmとなります。



注記：浮上防止用金具、アンカー鉄筋等は、取付後土埋部に防錆塗装してください。
アンカー鉄筋は現地用意としてください。

- 注記)
- 本図は施工図 (例) です。設置場所の状況を確認の上、工事の仕様を検討し、施工してください。
 - 屋外防水コンセント (アースターミナル付) を用意してください。 (別途工事)
電源の一次側には、漏電遮断器 (ELB) を付けてください。
(放流ポンプの電源には、各ポンプ毎に1個ずつ取付けてください。)
 - 嵩上げ枠は現地にて高さを調整して施工ください。
 - 流入管、流出管、臭突管、排気管、空気管 (浄化槽~機器)、電気配線、電線管は現地にて用意ください。
 - プロワは仕様異なる場合があります。
 - 平面図、A-A' 断面図及び配筋仕様中の () ※寸法は湧水仕様時の仕様です。
 - 放流ポンプの配線は、内径28mm以上の電線管を使用してください。
(電線管内にポンプのプラグを通す場合は、内径36mm以上の電線管を使用してください。
その際、電線管の接合部は、発泡ウレタンにより気密シールを行ってください。)
 - 放流ポンプの電線管端部は、発泡ウレタンにより気密シールを行ってください。
 - 放流ポンプ槽が付く場合は、必ず臭突管工事を行ってください。
 - 工事前に施工要領書をお読みいただき、正しい施工を行ってください。
 1. 行政庁等の指導がある場合は、行政庁等の指導に従ってください。



製図	ヒラカワ	18-12-05	第 三 角 法	品名	歩行者荷重仕様、深埋め300
審査	ツカモト	18-12-06	尺 度	KGRN-10P 施工図 (例)	
承認	ヒビノ	18-12-06	1 : 50		
株式会社 ハウステック				結城図番	YUD164342 △